

# かかりつけ医と医療保険者との協働による「健康なまちづくり」構想

秋田県保険者協議会

## 1 事業目的

慢性疾患の患者等が抱える「社会的孤立・孤独」「貧困」「DV・虐待」など、健康に影響を与える課題を「社会的処方」により軽減・解消することにより、重症化予防や健康意識の向上につなげ、患者が地域社会において生き生きと暮らせる社会の実現を目指す。

## 2 実施内容

### ①かかりつけ医から地域の調整役・医療保険者への情報連携事業

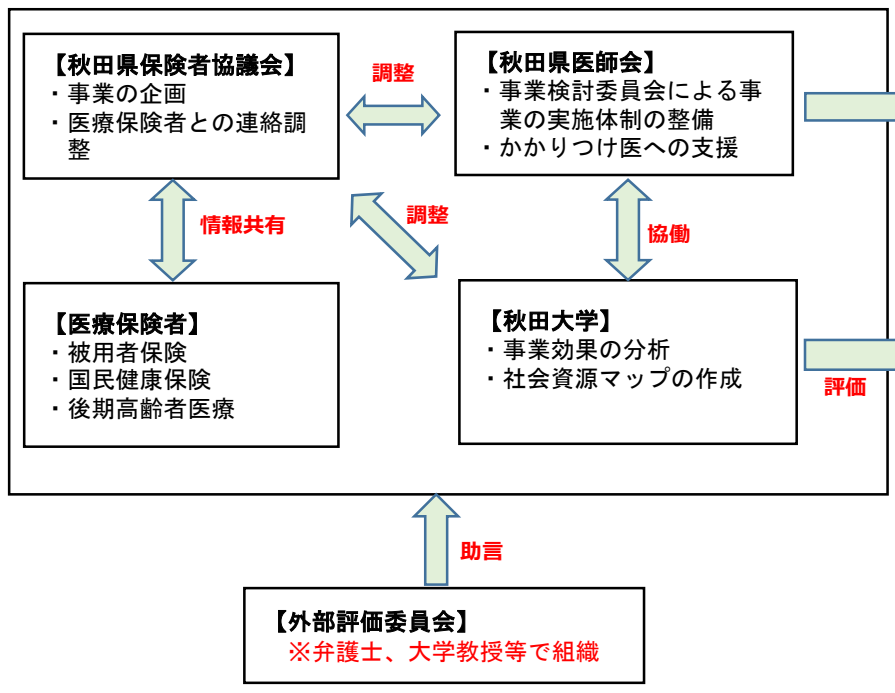
・かかりつけ医とリンクワーカーの連携による患者の社会的課題解消に向けた実施体制の構築及び社会的処方の実践

### ②地域特性・データ分析事業

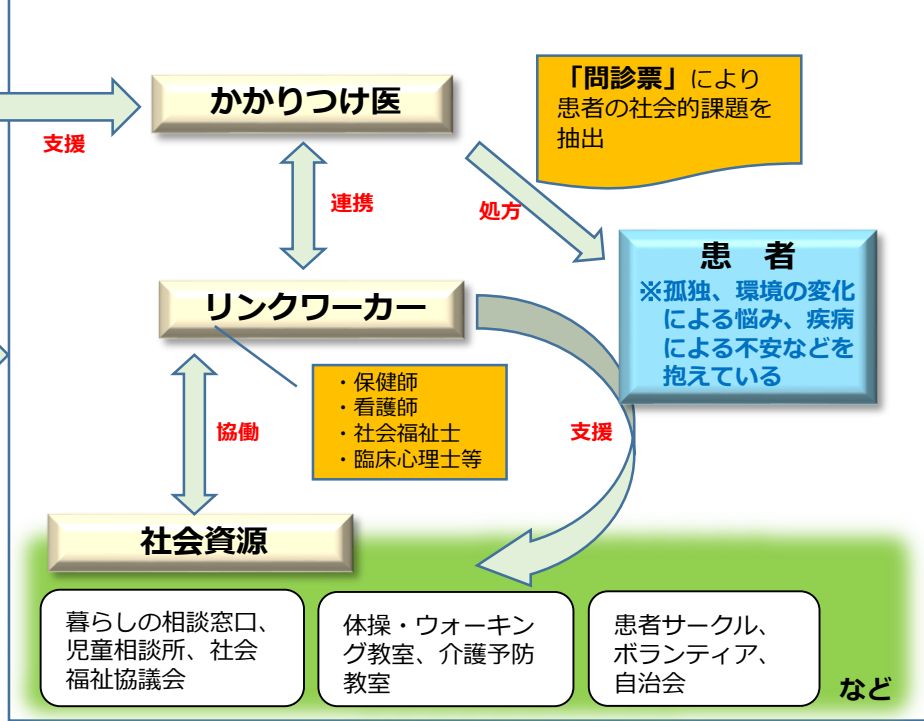
・関係者へのアンケート等を通じた社会的処方にかかる実施効果の分析

・社会的サポートを行う相談機関や患者サークル、健康教室など、患者が必要とする社会資源のマップ化

### 実施体制



### 社会的処方の実践



## 取組内容

### 社会的処方のための基盤づくり

- 患者が抱える社会課題抽出のための「**問診票**」を、事業検討委員会で協議・作成
- 患者説明と患者のプライバシー保護のため、事業検討委員会で「**同意書**」を作成
- かかりつけ医と社会資源とを結ぶ「**リンクワーカー**」を選定

### 社会的処方の実施

- 社会課題を抱える軽度認知症、高血圧症、がん等の疾患を抱える患者に社会的処方を実施

### 地域特性・データ分析

- 相談窓口や集いの場などの社会資源に関する情報収集等
- 患者の検査データ収集、社会的処方実施前・後における患者・かかりつけ医等の意識の変化等に関する調査

## 成果等

### 社会課題の抽出

- 【**問診票**】かかりつけ医が、診察の場面で問診票を活用し、患者の基本情報、健康・生活実態等について聴き取り、患者の状況を把握
- 【項目】①基本情報（氏名、性別、生年月日）  
②家族構成（氏名、続柄、キーパーソンなど）  
③健康状態（疾病名、医療機関名、投薬・治療や介護の状況）  
④生活（外出、会話、経済、メンタル、労働環境等）
- 【**同意書**】かかりつけ医が、問診票により患者の状況を把握した後、社会的処方について患者から書面で同意取得
- 【**リンクワーカー**】かかりつけ医の情報に基づいた患者訪問等による相談対応、社会資源の紹介など切れ目のない支援

### 社会的処方による効果（例）

- 以前は自宅に閉じこもりがちだった患者が、リンクワーカーと面談を重ねるうちに、外出に対する意欲が見られるようになってきた。
- 孤独を感じていた患者が、お茶会に足を運ぶようになり、自分の役割を見出すことにより生きがいを感じられるようになってきた。
- 足腰が弱くなってきた患者が、速歩体験会につながり、今では継続した参加を希望している。

### 社会資源のマップ化・事業効果の分析

- 地域の社会資源調査、地図ソフトへのデータ入力による社会資源のマップ化（秋田大学医学部生の協力）
- 血液・血圧、投薬量等患者の検査データの分析、患者へのヒアリング、患者・かかりつけ医・リンクワーカー等の意識調査

## 現 状

### 実施方法

- 患者自身が、社会的処方必要性を感じていないケースがある。
- 患者によっては、病状の関係から社会的処方についての理解が難しい場合がある。
- 診察の場面での患者の同意取得が困難である。

### 実施体制

- 家族や地域にキーパーソンが不在で、社会資源につながらないケースがある。
- かかりつけ医の負担が大きいため、対象者を増やすことが困難である。

### 事業効果検証

- 社会的処方の効果検証には、一定程度の期間を要する。
- 事業効果は、客観的データによる標準的な検証手法で分析されることが望ましい。

### 社会資源

- コロナ禍で社会資源にアクセスできない場合等への対応が難しい。
- 社会資源を収集・公開するに当たっての同意取得や、情報更新する際の手続きが困難

## 課 題

### 住民への周知・効率的な実施

- 社会的処方必要性について、住民に周知・啓発する必要がある。
- 事業説明・同意取得についての手続きを簡素化するなどし、効率的な方策を検討する必要がある。

### 人材・連携体制の構築

- かかりつけ医、リンクワーカー、保険者等が連携し、社会全体で取り組む体制の構築が求められる。
- かかりつけ医やリンクワーカーの負担軽減のため、人材の確保・育成、活動費等に対する支援を検討する必要がある。

### 事業効果手法の開発

- 事業の継続性の観点から、長期的視点に立った事業評価と、客観的・標準的な効果測定の手法が求められる。

### 社会資源の充実

- 訪問系の支援や、サロン活動団体等の少ない地域では、新たな社会資源を創出する必要がある。
- 効率的・効果的な社会資源の収集・公開及び情報更新の方策を検討する必要がある。